



若竹だより



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩
郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

秋 雨

園長 宮竹 恒

秋のキャンプを予定していましたが、雨天の為、残念ながら中止にいたしました。天気予報を毎日確認しながらキャンプの前々日に中止の判断をしました。

子どもたちに中止を伝えると、「前日に判断するのでは無かったの…」と声があがり、約束より早い決定をしたことを謝りました。

子どもたちの言葉を聞き、楽しみにしていた気持ちや残念な気持ちを受け止めることになりました。子どもからすれば約束を守って貰えなかった気持ちも強かったと思います。

てるてる坊主を作り、期待を膨らませていた子どもたちのことを考えると、言葉だけの謝りでは不十分であったかもしれません。

今年のキャンプは、コロナ禍の中、外で思い切り遊べる機会が出来たら良いな、職員とも普段以上に遊ぶことが出来たら良いなという思いで準備をしていました。雨天では十分な事が出来ないと考え、中止の判断をしたのですが、子どもたちの声から学園外での活動が例年以上に必要であることを痛感しました。

キャンプ予定日の夕食は、キャンプで作る予定だった職員と子どもたちが協力し、班ごとに具材が違う、個性溢れるオリジナルカレーを作りました。日々のストレスを思うと、子どもたちが楽しそうに調理をしている姿が、とても遅しく、そして美しく感じられました。

—了—



体育館



あいにくの雨で、予定していたキャンプが今年は中止になってしまいました。

そこで、雨が降っていても楽しめるようにと、体育館を借りてみんなで遊びました。

みんなでドッジボールをした後は、バレーボールやバドミントン、卓球、そして普段はできないバスケットボールなどをして目一杯体を動かしました。





今年初めて徳島県のあすたむらんどに行ってきました。天気も晴れて外出日和だったように思います。

昼食は弁当をみんなで食べました。から揚げやハンバーグなど子どもが好きなおかずが入っていて、笑顔で食べていました。量が多かったようで、全部食べ切れない子もいました。外で食べる食事は、良い気分転換になったと思います。



昼食後は、班に分かれて自由時間で活動しました。小学生は、わんぱく砦という場所で遊んでいました。普段遊ぶ事がないような大きな遊具に、目を輝かせながら駆け足で向かっていました。中学生は遊具には向かわずに、散歩をしたり、芝生広場でボールを蹴ったりして、思い思いの時間を過ごしていました。



自由時間が終わると最後に、吉野川めぐりというウォーターライドに乗りました。楽しそうにしている子や不安そうにしている子など、様々な表情を浮かべながら順番を待っています。

した。
ゴール地点で子ども達を迎えると「楽しかった！」「面白かった！！」とキラキラした笑顔で感想を言っていました。



帰りのバスでは、久しぶりの遠出で、思い切り体を動かしたので、疲れて寝ている子たちが多かったです。コロナ禍ではありますが、また機会があればこのような外出に行きたいと思います。

ご寄付ありがとうございます

日本舞踊先生

マスク沢山

青峰・若竹学級だよ

2学期始業式

夏休み中に大きく体調を崩すことなく、小中学生全員が学校一階ホールに集まり、新学期を迎えました。

暑い中でしたが真剣な表情で校長先生や園長先生の話聞いていました。



高校オープンスクール



中学校3年生は夏休み中にオープンスクールに行きました。来春入学をめざす高校に行ったことで、入試に対する気持ちを高めることができました。



小学生図工

小学生は図工でマイうちわを作りました。スイカや海など夏にちなんだイラストを描き、個性的なうちわが完成しました。出来上がったうちわで暑さを凌ぎました。



中学生美術の授業

中学生は美術の授業で標識のデザインを考えました。色や形の意味を工夫して伝えたい内容を標識に表しました。



2学期中間テスト

9月24・25日に中学校では2学期中間テストを行いました。時間いっぱい集中して取り組み、日頃の学習の成果を出しました。





となりましたが、各班や全体で楽しく協力することができ、「絆」を感じることができた夏祭りとなりました。

9月行事

8月30日に若竹学園で夏祭りが開催されました。今年度はコロナウイルスの感染予防のため、若竹学園の子どもたちと職員のみでのお祭りとなりました。



班に分かれて、やきそば、ドーナツ、ストラックアウトなどを出店しました。

当日に向けて看板などの準備を各班で協力して進めていました。当日にはお揃いの「絆」Tシャツを着て、子どもたちからリクエストのあった曲が流れる中、出店が始まると「出来たてありますよ!」といった明るく大きな声も聞こえ賑やかな雰囲気となりました。各店舗では楽しそうに競技に挑戦している姿や、笑顔で美味しそうに食事をしている姿が見られました。



また、「あの子これ食べたのかな?あの先生にもこれ持って行ってあげよう」などと全体を見て、みんなが楽しめるように心

掛けていた姿も多く見られたのが印象的でした。

片付けも全体で協力してスムーズに行うことができました。若竹学園内で少人数でのお祭り



18日	体育館
19日	あすたむらんど徳島
26日	防災調理実習
16日	買物外出
毎週水曜日	日本舞踊指導 遍路小屋奉仕活動(清掃:職員)

在籍人数 令和2年10月1日現在

区分		県内 (人)	県外 (人)	合計 (人)
男子	小学生	5	2	7
	中学生	8	1	9
	計	13	3	16
女子	小学生	4	0	4
	中学生	3	1	4
	計	7	1	8
合計		20	5	24

編集後記

今月は体育館やあすたむらんど徳島など、外に出掛ける機会があり、みんなで遊ぶことが出来ました。また、今月から平日の短い時間という制限はありますが、買い物外出も再開しました。外での活動が出来たことで、良い気分転換になったと思います。(大室)

第318発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192

TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160

ホームページ <http://4on.or.jp>

Eメール wakatake@4on.or.jp

編集兼発行者 若竹学園 編集委員

発行責任者 宮竹 恒

